

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2017年4月6日公開

Amir&Pastor Jack Hibbs ゴラン高原より

はい。私たちは今、シリア国境からライブ中継しています。私の後ろにはシリアが見えています。まもなく Pastor Jack と私とで、ライブを行います。只今機材のテスト中。それとも、ライブのマークが点灯しているから、このままいきましょうか。ジャック！

【Pastor Jack 以下 PJ】繋がってるの？

【Amir】—もちろん。もうみんな観てるよ。誰かこれ（iPhone）を持っていてくれますか？こんな感じで。

【PJ】私たちが話している間に、皆さん祈ってて構いませんよ。私たちもどうなることやら、さっぱり分かりませんから。

【Amir】ここで自分を確認できるから。

【PJ】ではお集まりください。明日もここに来ますよ。ここは重要な場所ですからね。

【Amir】では皆さん、すでにフェイスブックライブが始まっています。もう何百人という人たちが世界中からオンラインでこれを観ています。フェイスブックライブで中継しようと思った理由の一つは、私たちがシリアとの国境にいることと、それから、59発のトマホーク巡航ミサイルが、地中海に停泊中のアメリカ海軍艦艇から、全ての化学兵器攻撃が行われたシリア空軍基地に向けて発射されたというニュースに関して、ここ、ゴラン高原より皆さんにアップデートしたいと思ったからです。現在起こっていることに関して、聖書的な側面からお伝えします。我々はニュースキャスターではありませんから、私たちの役目は最新ニュースをお届けすることではなく、神が今現在行われていること、もしくは今後、神が許可され起こることに対して、神の人々を備えさせるのが目的です。

【PJ】いいですか？我々は聖書を読む時、とても注意しなければなりません。それは、私たちが聖書に告げるのではなく—それは間違いです。聖書が我々に語るようにしなければなりません。そして、歴史を理解するのはとても良いことだと思っています。私は自分がクリスチャンになるまで、歴史（history）については全く関心なかったのですが、これは“His Story”（彼《神》の物語）だということに気付いたのです。神は、私たちに書いてくださっているのです。それは、神の御言葉であるだけでなく、人の心に働きかけるためでもあるのです。我々が今現在目撃していることは、よく理解し知っておくべきです。我々が確実に知っていることとは？それは我々の後ろにあるシリアでは、大きな内戦が起こっていて、ここ数年の間に50万人以上が自国の政府によって虐殺されているという事です。また、ロシアも近くにいます。（イスラエル時間）今朝の時点で、アメリカ合衆国も近くにいます。アミールが59発と言いましたが、最新情報では現在、60発以上の巡航ミサイルがシリア国内の非常に戦

略的な場所に発射されたということです。よく聞いてください。シリアの政権軍の兵士は、そこから反政府軍に対して、化学兵器攻撃を仕掛けたのです。ここで言っている反政府軍とは誰の事ですか？彼らはアサド政権にうんざりしたシリア人です。それに混じって、我々の背後から銃声や戦車の爆音が皆さんにも聞こえているでしょう。ISIS もいます。いろいろな事が起こっているのです。しかし、これら全ての事を一步下がって聖書を開いてみて、国々がまとまりつつあり、国々がそれぞれの位置に引っ張り込まれつつあるのを理解しなければなりません。今現在、アメリカ合衆国はここに踏み込み、行っていると同時に、北朝鮮にも目を向けているのです。あちらで進行していることも、恐らくアメリカにとって良いことではないでしょう。しかし現在ホワイトハウスに入っている我々の大統領が、トマホークを一発目発射する2時間前に、ウラジミール・プーチンに連絡しました――

【Amir】 ―と、それからベンジャミン・ネタニヤフ

【PJ】 それと、ベンジャミン・ネタニヤフにも。

「これから我々は攻撃する」

「そのことを報告する」

と言ったのです・彼は許可を求めたものではありません。彼の言わんとしていることは、

「我々は誰かに対して攻撃をする」

「我々は現在シリアで起こっている大虐殺に対して、誰も何もしないため、我々が何とかしなければならぬ」

そして、ウラジミール・プーチンの報告はモスクワ時間で数時間前。今度はプーチンが言いました。

「我々は、シリアの行いの全てを支持しているのではないことを、皆さんにはご理解いただきたい」

48時間前、プーチンは

「我々はシリアの後ろ盾となる」

と述べました。どうなってるの？皆さん、これはアメリカから出た指導者とその国民です。皆さん、よく聞いてください。フェイスブックでこれを観ている人も。立ち止まってよく聞いてください。我々の後ろのシリアでは、人々が助けに来てくれることを喜んでいますが、アサドに敵対している反政府軍を、誰かが防衛していることに希望を感じている人たちがいるのです。

【Amir】 言うておきますが、イスラエルは野戦病院を所有しています。国境付近で傷ついたシリア兵達や怪我人を、我々の病院に収容して手当をして、快復したらまた彼らを元の所に戻しています。シリアのこの地域にいるシリア人は、イスラエルが他の誰でもなく、完全に彼らの味方であることを知っています。我々は、罪のない市民たちの味方です。もしイスラエルがシリアに攻撃を仕掛ける時は、いかなる場合でも、イスラエルは内戦の一方に加担しているのではなく、内戦のドサクサに紛れて、ヒズボラが北朝鮮からでもイランからでも「流れを変える最新兵器」を入手するのを防ぐため、我々の目は常に、――こういうジェスチャー（自分の目を指さす行為）の意味は分かりますね？「見ているんだぞ！」という意味の。このすべての状況の中で、我々の目はシリアの軍隊と、イランの代理であるヒズボラに向けられています。そして、彼らは現在、レバノンよりも多くシリアにいます。ヒズボラの兵士は、レバノンよりもシリアの方に多く存在してるんです。2週間前、我々はまさにこの場所からドロー

ン攻撃を行いました。そして、地元司令官を殺害しました。彼はこの場所、我々の国境にヒズボラ/イラン実行部隊を創設するために、ヒズボラによって勧誘されたのです。別の言い方をすれば、イランはイスラエルとの国境に来たいということなのです。しかし、我々はそれを許しません。

【PJ】皆さんが立っているゴラン高原は、以前はシリアによって占領されていた、とても戦略的な場所です。ここまで、バスで来る途中も、美しく見事でしたよね？いいですか？バラク・オバマは、皆さんがここ数時間のうちに通った全ての美しい土地を、全部シリアに返還せよと言ったのです。それが数年前に起こっていたと想像してみてください。数年前にそれが起こっていたとしたら、実際問題、それはイスラエルの人々と安定した世の中にとって大惨事となっていたことでしょう。なぜなら、今はISISがここにいるのです。皆さん、それに先駆けてイスラエルが支配したこの地域から、シリアはあなたがたが車で通ってきたユダヤ人の町めがけて攻撃を仕掛けるのです。ティベリヤやガリラヤ湖は定期的にロケット攻撃に見舞われているのです。イスラエルがこの場所を取り戻して以来、平和があります。どういう類の平和でしょうか？フェイスブックでこれを観ている方には、私の後ろの景色が見えないでしょうが、後ほどご覧いただけます。私は、国連がイスラエルを憎んでいるのは、皮肉だと思いました。国連は、ニューヨークの国連本部で、地上のどの国よりもイスラエルを非難しています。今現在、北朝鮮、イラン、その他の国がスカッドミサイルを打ち上げていますが、人権法違反のお咎めはいっさいありません。しかしイスラエルは国連から絶えず攻撃されています。しかし、今私の背後にいるのは、——彼の方を向いてみます——国連の監視員がコンピューターやハイテク機器に見入っています。皆さん、抗争が起こっているのはどっち側ですか？彼が監視しているシリア側じゃないですか？彼はイスラエル側に居ませんか？

【ツアー客たち】イスラエル！

【PJ】なぜだかわかりますか？彼はヘルメットすら被っていません。ここに居れば、彼は安全なんです。彼はここでは安全なのです。この人はCNNが報道しないことを知っているのです。彼は勤務時間を終えると、シリアで夜を過ごすのですか？それともイスラエルのホテルに戻るんですか？

【ツアー客たち】イスラエル！

【PJ】彼は違った食事を取り、彼は違う形で眠ります。そして目が覚めて、彼はまたここに戻って来て、ここが安全かどうか何が起きているのかを監視するのです。いいですか？世界は皆さんに嘘をつき、偽善を蒔き散らし、国連は何度も何度もイスラエルを非難します。しかし、この国連監視員は、パンのどっち側にバターが塗られているのかちゃんと分かっているのです。分かりますか？びっくりするほどの偽善。それを皆さんはここで目撃しているのです。ビックリです！

【Amir】また、皆さんにお伝えしたいのは、聖書によれば、神の敵と神を憎む者は、神とは戦えないため、神がかくまわれた者、神の民に敵対するのです。

4 彼らは言っています。

「さあ、彼らの国を消し去って、イスラエルの名がもはや覚えられないようにしましょう。」

(詩篇 83:4)

1990、1991年の事を考えてみてください。アメリカはイラクを攻撃していました(湾岸戦争)。そして、何が起こったか？アメリカの攻撃に対して、イラクが攻撃したのはどこにですか？

【ツアー客たち】イスラエル

【Amir】その通り！これがまさに、イスラエル軍が最高の警戒態勢に入っている理由です。考えてみてください。皆さんはシリアを攻撃しました。それでシリアがアメリカを攻撃すると思いますか？もちろん、しませんよ！もし彼らが何かをするなら、しようとするなら、彼らが熱中してやって来るのは、我々に対してです。そしてシリアからイスラエルに向けてロケットが発射された時、我々はそれに対して絶対に黙っていないということも皆さんにご存知ですね？そこで、私が言いたいのは、次の通りです。我々がイザヤ書 17:1 について語る時、――

1 …ダマスコは取り去られて町でなくなり、廃墟となる。

(イザヤ書 17:1)

これが起こり得るシナリオは2つだけです。

- ① 彼ら自身が自ら滅ぼす。――彼らは実に上手くやっていますからね。
- ② もしくは、厳しい対応、我々はこれを先制攻撃と言いますが、もし彼らの領域から何かとんでもない事が我々の所に飛んでくるのが分かった場合に行います。

これが、私が考え得る2つのシナリオです。彼らが自滅するか、我々がやるか。一つ確かなことは、聖書には誰が攻撃するかは書かれていませんが、何が起こるかが書かれています。そして、何が起こるかといえば、ダマスカスは廃墟となる。ダマスカスはここから60マイル(約100km)の距離です。それほど遠くはありません。実際、天気の良い日はここからダマスカスを見ることが出来ます。あちらに見えるんですね。なぜこれを言うかということ、現在起こっている全ての事から、やがて預言者イザヤが言ったことが成就する。約2,800年前に告げられたことが、先週の新聞よりもはるかに正確だということを、皆さんに覚えておいてほしいからです。皆さんは誰を信頼しますか？二日ごとに考えが変わる解説者か。それとも変えることが出来ない、変わらない方か。これら起こっている全ての事を通して、皆さんはどうか神の御言葉に目を留めてください。そして、出来事を通して、皆さんがすでに知っていることを確認していくのです。自分の知らない事ではなく。分かりますか？神の人は周りで起こっていることに恐れを抱くべきではないのです。私たちは話の終わりをちゃんと知っているのですから。

【PJ】その通りです。先ほども言いましたが、ここで見ようとしているのは、大変なことです。可能性として…可能性としてですよ？諜報機関や他の人たちが、我々はすでに第三次世界大戦に突入していると、ここ数年の間ずっと言っていますが、実に、その可能性は大です。世界大戦のうわさがいくつもあ

ります。皆さんは、聖書に出てくる国を考えてください。突出して出てくるのは、リビア、イラン、ペルシャ。これらの国は出てきます。でもシリアは出てきません。イザヤ書 17 章で首都を取り除かれることで、シリアは絶望的になるのかもしれませんが。だからエゼキエルに名前も出て来ないのかも知れない。仮説として可能性はあるが、私たちには分からないのです。たまに、「主が言われた」などと言いますが、それは完璧に間違いです。私たちは聖書を開き、起こっていることを観測して、出来る限りの情報を収集し、そして、信者として絶対に恐れたりしない。いいですか？イエスは言われたのです。主が戻って来られる前には、戦争や戦争のうわさが増える。こう言った全ての危機が起こると言われたのです。地震は頻度もマグニチュードの規模も増す、と言われ、我々はそれを見ています。いいですか？我々アメリカ人は、タコベル（ファーストフード店）をドライブスルーで通り、3分で食べ物を与えられることを求めます。それがかなわないと文句を言うが、神は聖書預言のタコベルドライブスルーではないのです！時に、それはゆっくりと動きます。だから、今皆さんが見ているのは、それらが繋がって来ているのです。一つ確かなのは、世界が現在のような状態になるのをこれまでに見たことがない。誰も見た人はいません。これは地球規模でほぼ瞬時に起こっており、国々が戦争を起こすとうわさしているか、もしくは戦争しているか。現在、北朝鮮、中国、それからここで起こっている問題、イラン——この状況は驚愕です。すごい事です。

【Amir】 ロシユはここにいます。ペルシャもここにいます。ゴメル、ベテ・トガルマはトルコで、既にここにいます。それから考えてみてください。ロシアは今、我々がこうして話をしている間にも、その長い腕をリビアとスーダンにも伸ばして、舞台を整えているのです。

【PJ】 —スーダン？ロシアの兵士が、リビアにも？

【Amir】 そうです。リビアとスーダンにも。これらはエゼキエル 38 章に出てくる別の国です。そこに出てくる全ての国が、今現在ロシア、マゴグの大首長ゴグによって操られているのです。だから皆さん、地球の歴史上、こんなにちほどエゼキエルと直結している時代はないでしょう。

【PJ】 皆さん、エジプトの首相アッ＝シーシーが先週ワシントンを訪ねて、話し合った議題の一つは——よく聞いてくださいよ。——議題は、エジプトとリビア国境でのロシア駐留です。それから、よく聞いてください——BBC、CNN ニュース、全員がそれはフェイクニュース（偽ニュース）だと言ったのです。「国境にロシアの作業員などいない」と。そしたら、ソーシャルメディアで、リビア人とエジプト人が写真を撮って「ロシア人が国境にいる！」と投稿し、CNN は「そんな奴はいない！それはフェイクニュースだ！」

と言い、彼らはこの偽ニュースの話を、偽ニュースの罪で有罪としたのです。

【Amir】 ということで、シリアから 2.4 km のゴラン高原頂上より、皆さん全員にお伝えします。世界中、それぞれの家も、ここも、神が完全にコントロールされています。私たちは然るべき道に留まって、なにものも神を御座から落とすことはできないと信じましょう。私が心から信じていること、それは、我々に残されたのは、自分自身の心を調べることだけです。我々は準備が出来ているか？ハイマン

博士が言ったように、

「預言は我々を恐れさせるためのものではなく、備えさせるためのもの」です。

【PJ】最後に、これを視聴している皆さん全員に伝えます。ここで起こっていることを事前に告げた、同じ預言者のこれら全ての神学は「救済論」と呼ばれるものです。

「何だそれ？」これはつまり、救いはあなたに差し出されたものだということです。イエスは十字架で死なれました。それは聖書で預言されていた事です。イエスは、あなたの罪のために死に、死からよみがえりました。彼が主であり、彼はいつか戻って来られて、全てを正しくされるのです。しかし、その時まで、あなたはイエスに信仰を置かなければなりません。どこかの教会ではなく、何か霊的なものではなく、イエス・キリストに、です。

6 わたし（イエス・キリスト）が道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。

（ヨハネ 16:6）

これは無償で与えられる道です。けれども、安いものではありません。神はご自分の御子のいのちでもって、支払われたのです。God bless you!

【Amir】ゴラン高原の頂上より、God bless you! Shalom! Good bye!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL（英語）、「DIVINE US」（日本語）を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

by Pastor Jack Hibbs/CalvaryChapelChinoHills/ RealLifewithJackHibbs :

<http://www.reallifewithjackhibbs.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO